

IRONMAN70.3 TAIWAN レースレポート

TeamZenko 辻 善光

アイアンマン 70.3 台湾 エイジカテゴリー30-34歳の部で5位になり、9月にオーストラリアで開催されるワールドチャンピオンシップの出場権を獲得しました！

苦手な水泳に練習時間を割き、タイム短縮を狙いましたが台湾に押し寄せた寒波の影響で水温が低く、途中で低体温症になってしまいました。意識朦朧となりながらも1.9kmを泳ぎきりましたが39分07秒と非常に遅く、クラス27位でした。

得意のバイクパートでの巻き返しを狙ってスタートしましたが低体温症が解消されるまでに時間がかかりペースを掴むことに苦戦しました。ただ、コースが非常に難しかったため他の選手も波に乗れなかったようです。90kmと長丁場なので気持ちが切れないように自分に言い聞かせ続けることで最後まで同じペースで走りきることができました。バイクパートで24人抜きをし、3位までジャンプアップできました(競技中に順位はわかりません)



ランニングは前回の台湾(平均5分05秒/km)と先日走った東京マラソン(平均4分42秒/km)から4分50秒ほどで走ることを目標としてスタート。走り始めに同クラスの選手2人に抜かれ焦るも4分30秒ペースで走っていたためペースアップは危険だと判断し同じペースをキープ。目標よりも20秒も速いペースであるため不安だったけれど思い通り走れなかった2種目のフラストレーションから攻め続けることを決める。ラスト6kmで突然身体が動かなくなりペースが落ち、危険なペースダウンだと判断しカフェインの錠剤を3錠摂

取。2分我慢したら集中力が戻ってくると信じて我慢。しばらくすると集中力がしっかり戻ってきてもう一度攻める。前を走っていた選手を猛追しゴール前で2人を抜き4時間47分14秒でゴール。

すべてを出し切ってゴールしたものの8位くらいと予想していたため悔しくて落ち込んだ。ゴール2時間後にリザルトが出てチェックすると5位だとわかり嬉しくなった。チャンピオンシップの出場権はカテゴリー毎の出場人数によって変化するため30-34カテゴリーにいくつ用意されるかは発表される時までわからない。発表会は非常に緊張した。「30-34カテゴリー、5スロット」と発表があったときは嬉しさより安堵感の方が強く力が抜けた。

出場権獲得は目標達成であり、新たな目標ができた瞬間でもあり気が引き締まった。

今回はTeamZENKO Tシャツを資金調達のためにも多くの方に購入していただけたことで、バイト時間を減らしトレーニングをする時間を作ることができました。自分なりに納得ができる準備ができ、多くの方に支えられて走ることで強い気持ちは保つことができました。低体温症だけは気合いでどうにもなりませんでした。結果を出すことができて感謝しております。

また9月に向けてトレーニングに励みます。応援ありがとうございました。



HOLMENKOL 使用ケミカル・ツール

チェーン：ルーベエクストリーム、ダートプロテクター

フレーム：スポーツポリッシュ、アクアスピード

クリーナー：チェーンクリーナー、コグブラシ、ライニガー、スポーツ
クリーン、バイクウォッシュ

ウェア、シューズ：ハイテクプルーフ

サングラス：ノーフォグ